

2024年度 第11回白山登山道ミーティング



石川県勤労者山岳連盟 チブりの仲間委員長 北市 正

本ミーティングの目的

登山道は、人間と自然の接点です。

山岳地帯の自然を保護する事は、登山道の在り方、登山道との関わり方を考える事から始める必要があるのではないのでしょうか？

私たちが関わっている名峰・白山の登山道は現在、適正に管理され、正しく利用されているのでしょうか？

市ノ瀬別山道維持管理業務に石川労山が関わって23年目になりました。昨年度からは、白山の自然を考える会から全ての業務を引き継ぎ、石川労山内に委員会組織「チブリの仲間」を創設しての実施しています。。

日常的に登山道を利用する山岳団体として、改めて積極的な登山道との関りを持つ機会を持ちました。

本年度は、今年を振り返り、来年度の計画を中心に議論して行きます。

The background of the slide features a lush green scene. The top half is dominated by dense, vibrant green leaves and branches, likely from a tree, which frame the central text. The bottom half shows a soft, out-of-focus green landscape with a line of trees under a bright sky. The overall color palette is various shades of green, creating a fresh and natural atmosphere.

～2023年度から発足～

チブリの仲間

設立にあたって

石川県勤労者山岳連盟(以下石川労山)は2023年度以降、白山の市ノ瀬別山道(以下チブリ登山道)の維持管理業務を石川県より委託します。

委託に伴い、石川労山内の委員会組織として任意団体「チブリの仲間」を創設します。活動のキャッチフレーズは「フットワークとネットワークを活かした登山道維持管理」です。登山道を積極的に利用する山岳会による、積極的な維持管理活動となります。石川労山加盟6山岳会の組織力、個人力を発揮し相乗する活動を目指します。

登山道は、人と山を結ぶ存在です。

しかしながら、その道や設備の維持管理は容易ではありません。

私たちは、日常的に登山道を利用する山岳団体ですが、これまでは「誰かが維持管理している登山道」を歩いていただけです。

これからは「自分たちが維持管理している登山道」を持つ事になります。

チブリ登山道は、白山でも人気の路線であり、その維持管理には責任も生じます。

石川労山加盟200余名の「フットワークとネットワーク」を発揮して実施して行きましょう。

【活動の理念】

山岳会の「フットワークとネットワークを活かした」
登山道の「積極的利用者による、積極的維持管理」

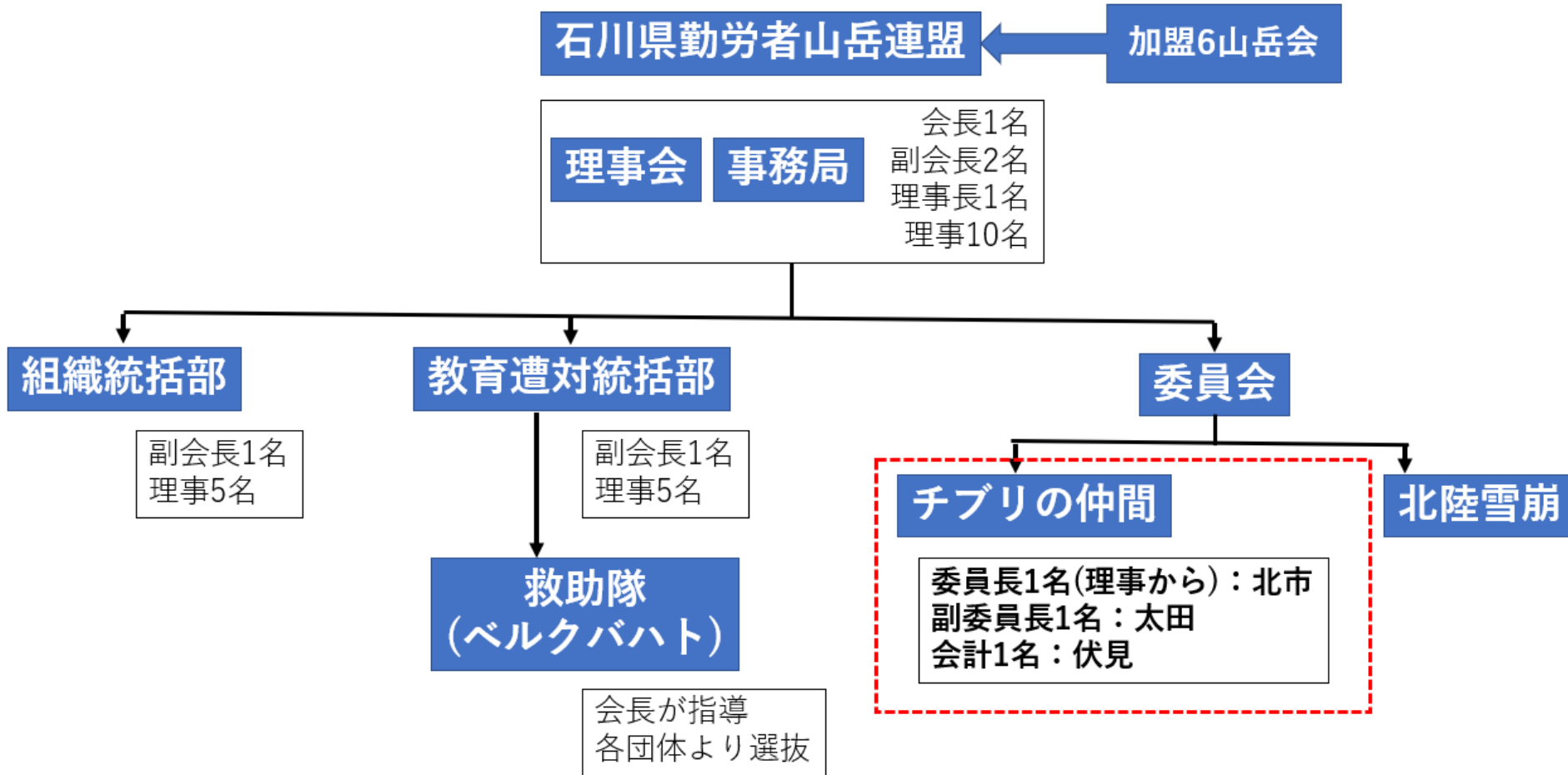
【理念実現の方法】

石川労山内に委員会組織「チブリの仲間」を設立して実施

【活動の特徴】

- ・5月～10月に担当会を設けた登山道巡視、整備日を設ける事で最低1回/月の活動
下草刈り込みと浸食箇所補修に注力
- ・委員会活動として一般参加が可能な活動日を設定し普及啓蒙を行う
- ・外来植物対策を一体で行う
- ・大雨や台風通過後の迅速な登山道点検と処置
- ・報告会を通じた参加者や行政とのコミュニケーション

組織体系について



2022年度までの変更点について

2022年度

2023年度

NPO法人白山の自然を考える会

石川県勤労者山岳連盟

委託業務

- ・市ノ瀬別山道維持管理
- ・生態系維持回復事業

委託業務

チブリの仲間

- ・市ノ瀬別山道維持管理
 - ・生態系維持回復事業
- ⇒作業は北市が実施、委託金を収める

NPOとしての活動

- ・登山道設備の維持管理活動
(避難小屋の外装塗装など)
- ・生態系維持回復事業(ボランティア)
(各登山道での除去イベント)
- ・いしかわ自然学校プログラム
(自然体験イベントによる普及啓蒙)

事務局が依頼を受けて実施可否検討
事務局活動として実施

- ・登山道設備の維持管理活動
(避難小屋の外装塗装など)
- ・生態系維持回復事業(ボランティア)
(各登山道での除去イベント)

○自然学校は継続

委託業務の概要①_市ノ瀬別山道維持管理(石川県)

石川県からの委託事業

【区間】

市ノ瀬～南縦走路合流点の約8.2km

高低差約1500m

【作業内容(仕様書の指定)】

- ・登山道巡視(4回)
- ・下草刈込(幅80cm)
- ・通行支障物の処理
- ・軽微な登山道整備
- ・避難小屋管理

※事業委託の関りはR6年度で23年目



市ノ瀬
830m

白山本峰

御舎利山

別山
2399m



白山

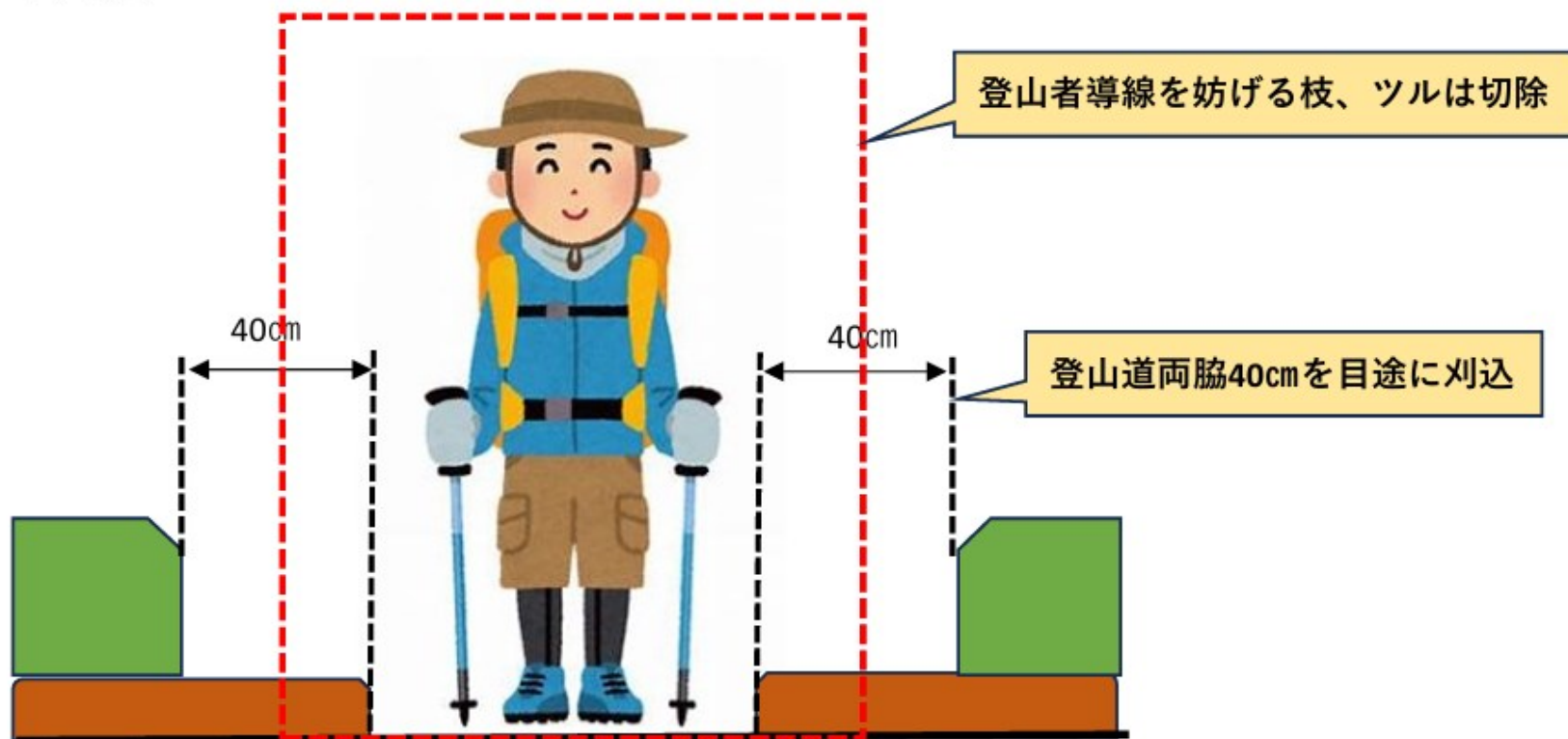
別山



チブリ尾根

下草の刈込:方針は2023年に石川県と現地打合せ

①下草刈込



- ・ 上記を基本方針とする
- ・ ササ、灌木は登山道両脇40cmを目途刈込は必須、刈込後にイネ科が繁茂するのはやむを得ない
- ・ 稜線のお花畑は登山道脇を早い段階で刈込
- ・ 下部のニリンソウ、サンカヨウが登山道脇に多い箇所は今後もより良い方法を模索する

下草の刈込：作業状況



登山道整備：方針は2023年に石川県と現地打合せ

②登山道整備

- ・ 全般に、近自然工法の趣旨に合致しており問題なし
- ・ 作業した内容に関して都度、石川県白山自然保護センター担当者へ連絡する事
- ・ 実施方法に関して相談がある場合も自然保護センター担当者へ都度相談する事
- ・ ぬかるみ箇所の補修では環境配慮素材の土嚢の活用も検討する事
- ・ 水路導線確保の作業では多少の水路河床の掘り下げは許容できる
- ・ 下の水場のロープは撤去して導線を明確にする様に石を並べる工夫をする事

登山道整備：作業状況



浸食は踏圧と流水で広がって行きます。影響が大きくなる前に、現地材で補修します。



避難小屋の管理

①雨水タンク、雨樋の取付け、取り外し



②定期的な清掃、外装の補修



委託業務の概要②_生態系維持回復事業(環境省)

[環境省](#) [国立公園](#) [国立公園とは](#) [保護と利用](#) [生態系維持回復事業](#)
(env.go.jp)



白山国立公園	
策定者	農林水産省 国土交通省 環境省
事業を行う区域	白山国立公園全域
事業を行う期間	平成27年4月1日から事業の目標が達成されるまで
事業の目標	外来植物の防除等を行い、白山国立公園における原生的な生態系を維持又は回復することを目標とする。
事業計画書	▶ 白山生態系維持回復事業計画 [PDF 263KB]

【具体的、現実的な目標】

- ・自生固有種のハクサンオオバコとの交雑防止
- ・ハクサンオオバコ自生地へ続く登山道設備での外来植物種子の捕獲
- ・概ね標高2000m以上の外来種除去、外来種種子を侵入させない

①市ノ瀬別山道

- ・猿壁登山口マットの設置(6月)、マットの交換(1回/年、8月)、マットの撤去(10月)
- ・チブリ尾根避難小屋に種子対策ブラシ設置(6月)、点検(1回/月)、撤去(10月)

②南縦走路

- ・三ノ峰避難小屋に種子対策ブラシ設置(6月)、点検(1回/月)、撤去(10月)

※別途独自の除去活動を実施する場合がある

【猿壁登山口マット】



【三ノ峰避難小屋ブラシ】



【チブリ尾根避難小屋ブラシ】



【2024年度実施実績】

内容	場所	設置	点検(7月)	点検(8月)	交換	点検(9月)	撤収
マット	猿壁登山口	6月1日	7月21日	8月8日	8月14日	9月5日	10月26日
ブラシ	チブリ尾根避難小屋	6月1日	7月21日	9月5日	-	-	10月20日
	三ノ峰避難小屋	6月8日	7月21日	9月5日	-	-	10月31日

※台風10号通過待ち

除去活動

①三ノ峰避難小屋(6/8:3名)

②チブリ登山道(6/22:1名、9/7:1名)



三ノ峰避難小屋周辺はオオバコの繁茂が激しく、山頂を越えて別山側にも進出しているので、今後も継続したい



2024年度実績 実施回数19回、延べ参加者75人

実施日	参加人数	内訳								作業内容		
		チブリの仲間	チャムラン	めっこ	ハイキング	ブルーベル	でんでん	フウロ	一般	登山道整備	避難小屋管理	外来対策
5月2日	3	1		1				1		●	●	
5月11日	1	1								●		
5月18日	11	2			2			7		●	●	
5月25日	3	1							2	●		
6月1日	2	2								●		
6月8日	3	2				1						●
6月15日	13	2	6				3		2	●	●	
6月22日	1	1										●
6月29日	11	1				10				●		
7月20日	4	2		2						●		
7月21日	1	1										●
8月8日	1	1								●		
8月10日	2	2								●		
8月14日	1	1								●		●
8月24日	10	2			8						●	
9月7日	3	2							1	●	●	●
10月20日	2	2									●	
10月26日	2	2								●		●
10月31日	1	1										●
合計	75	29	6	3	10	11	3	8	5	13	6	7

【参考】

2023年度 実施回数:9回 延べ参加人数:85人

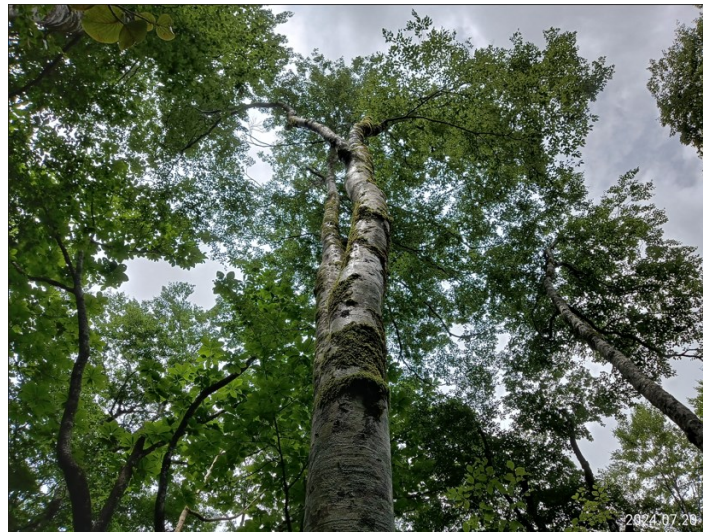
2022年度 実施回数:23名 延べ参加人数:129人

2024年度のトピック

・下の水場手前の掛かり木の処置



林業用のプラロックという道具を使って掛かり木を引き抜きました



2024年度のトピック

・資格の取得、作業練習



刈り払い機安全講習受講:2名(うち1名は女性)
チェーンソー(伐木)安全講習:1名

本日はご参加頂きありがとうございました

本日の審議内容や皆様の意見を来年度に活かし、より良い活動を目指します。
本日のミーティングを通じて白山の登山道維持管理についてより、知識を深め愛着を持って頂ければ幸いと思っております。
来年度の活動日程が決定しましたら、皆様にも周知致します。
活動へは、お気軽にご参加下さい。

最後に

登山道は利用者がある程度限定されます。利用者は「積極的利用者」であると言えます。

私の理想は「積極的利用者」各自が「積極的維持管理者」としてのマナーとモラルを持ち、自発的な維持管理を行って行く事です。これは信仰の山「白山モデル」として他山域に誇るべき姿と思っております。

来年度の計画は立案次第、皆さまにご案内します。
またチブリでお会いする日を、楽しみにしております。

【質疑応答、ご意見など】

〈石川県より〉

・危険を伴う作業に関して

- ☞ 保護具はしっかり着用して作業して下さい
- ☞ 作業内容、作業可否は都度相談の上、作業して下さい

〈環境省より〉

・普及啓発について、どのような手段で実施していますか？

- ☞ いしかわ自然学校を通じて募集しています
- ☞ 友人や知人への勧誘も行っています
- ☞ 今後は地域おこし協力隊も活用したいと思っています
- ・安全講習や練習に関して、公的なもので実施してますか？
- ☞ 安全講習は、労働安全法に定められた公的講習を受講しています
- ☞ 動力を使用する作業は安全講習を受講した人で実施しています
- ☞ 練習は会内で実地で実施しています

〈その他〉

・チブリ以外の白山登山道で異常を発見した際はどうすれば良い？

- ☞ 写真と出来れば位置情報を白山自然保護センターへ連絡下さい
- ☞ 保護センターへの連絡が困難な方は北市経由で連絡下さい
- ☞ これもフットワークとネットワークだと思います
- ・観光新道は来年は利用可能？
- ☞ 分岐の下の作業は来年の途中まで掛かります